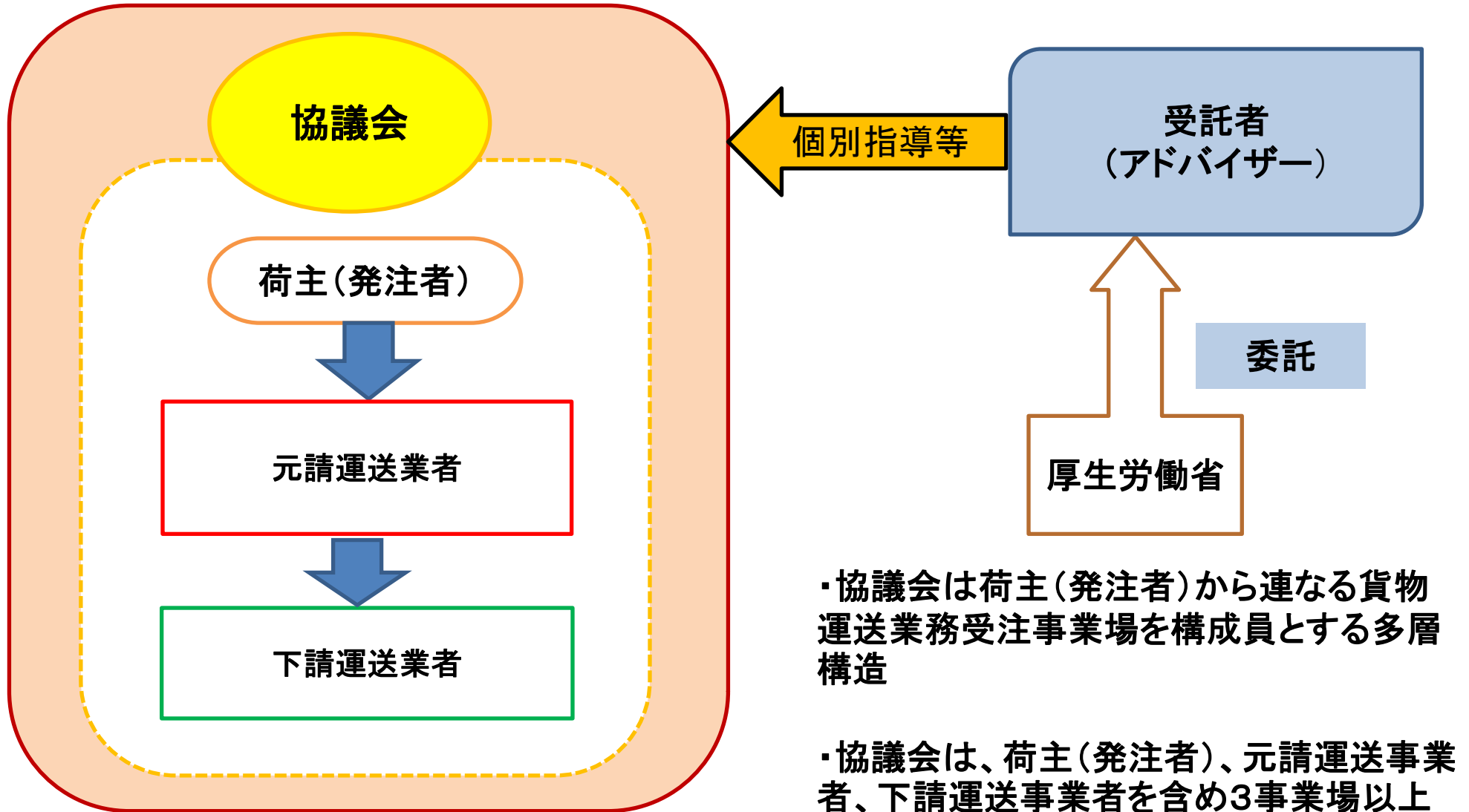


パイロット事業(実証実験)について

- 平成28年度から実施が予定されているパイロット事業については、現時点でその内容が確定していないが、平成24年度から厚生労働省が行っている委託事業※「トラック運転者の労働条件改善事業」をモデルとして取組が行われる見込み ※委託先 (株)日通総合研究所
- 事業の概要としては、荷主企業、元請運送事業者及びその元請運送事業者の下請運送事業者を含めた協議会を設置し、アドバイザー（外部専門家）による助言や個別指導等を通じて、労働時間の短縮など業務の効率化を進める取組 ※一定の予算措置あり
- 各都道府県ごとに1又は2のパイロット事業の実施が予定されている

トラック運転者の労働条件改善事業



Case 1 導線と積込作業の改善で車両待機時間を短縮化（荷主：家電メーカー）

Before

- ・製造建屋→出荷建屋への横持ち運搬
- ・積込み車両の手待ち

【 対 策 】

- ①建屋間運搬を削減し製造建屋からのダイレクト出荷
- ②積込作業のフォークリフト荷役併用
- ③出荷建屋の導線改善、接車スペース拡大出入口の拡張等

After

各改善策の相乗効果により、車両1台あたりの待機時間を9～10分程度短縮化

Case 2 回収物の降ろし作業時間短縮による拘束時間削減（荷主：食品スーパー）

Before

- ・回収物の降ろし作業に時間がかかる。

- ・降ろし作業の順番待ちで手待ち時間発生

【 対 策 】

- ①回収物の店舗での仕分けを徹底
- ②作業の軽減による効率化

After

- ・作業時間と手待ち時間の短縮、拘束時間の短縮

- ・作業効率の向上

Case 3 データの活用により場内作業をスムーズに（荷主：製紙メーカー）

Before

【従来の対策】

- ・入庫受付管理システム
- ・場内整理とバースの確保
- ・商品の共有化

【追加の対策】

- ①入庫受付管理システムのデータ化
- ②場内作業員の増員
- ③指図書の入手場所の複数化

After

- ・入庫から出庫まで2時間（待機時間30分以内）に
- ・待機時間の削減による労働時間短縮